

小暑の候

今年の梅雨明けは、わが国の観測史上最も早い6月下旬で、猛暑が続いています。
かような日々、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしたでしょうか？

本日の“記念すべき第100回大江戸探索会は、たまたま第28回参議院選挙と重なってしまいましたが、「東京駅丸の内南口～旧江戸城にして現皇居を周回する都道401号線(内堀通り)沿い各所～東京駅丸の内南口」を予定通り催行させていただきます。

暑さ厳しい折の探索会となりましたが、“日傘持参・水分補給・休憩等の暑さ対策”を万全にして大いに楽しんでいただきたいと思います。

次回の第101回探索会は、わが国の鉄道開業150年関連の総仕上げということで、さいたま市の鉄道博物館を訪れまして、わが国の鉄道史を実物の車両等を前にして学びたいと想います、乞うご期待を!?

探索コースは、かつて大宮操車場があった土地に出来た“さいたま新都心駅”集合、旧操車場跡の“さいたまスーパーアリーナ”界限から武蔵一宮氷川神社の日本一長い参道を歩いて氷川神社を参拝後、鉄道博物館へ。

鉄道博物館では、150年前の新橋～横浜間鉄道開業に際して英国から輸入しました1号機関車をはじめとして、わが国の鉄道発達史の“生きた証人”とのご対面です。

鉄道博物館から大宮駅西口までは、時間・体力に余裕がありましたなら新幹線沿いに徒歩で、時間・体力に余裕がなければニューシャトル(埼玉新都市交通)を利用します。

開催日時・コース等は、

1. 月 日 令和4年9月25日(日) 10:00～16:30
2. 集合場所 JR 東北本線さいたま新都心駅 改札口前
3. 見学箇所 さいたま新都心駅→けやきひろば→さいたまスーパーアリーナ界限→
(コース) 氷川参道→氷川神社→鉄道博物館→大宮駅(西口) 16:30 (解散)
4. 費用 参加費500円、昼食代、交通費、鉄道博物館入館料は各自負担
5. 案内者 菊池 威 (048-651-1925 自宅・090-2653-1305 携帯)
6. 事務局 藪 牧枝 (080-5690-7141)
7. 小雨決行

※ 1 会員の皆様方には、新型コロナウイルス感染症にはくれぐれもお気をつけられて探索会を大いにエンジョイしていただきたいと思います。

※ 2 菊池案内人の今後のご案内予定としましては、JR 中央線沿線(国分寺駅南口～武蔵国分寺跡界限～西国分寺駅～国立駅界限)

各 位

2022.7.10.

祝 第 100 回大江戸探索会の開催に寄せて

大江戸探索会の会合は、本日、第 100 回目の開催ということとなりました。本日の探索会に参加されました皆さんと共に心から慶びたいと思います。

さて、当探索会は仲間内の『北上から上京して東京に住んでいるけど、東京のことあんまり知らないな』ということから、東京を歩いてみようということになって 2004 年に発足しました。

そして 19 年間続いて本日を迎えられることとなりましたが、この間、会合に参加され、会を盛り上げてくださいました皆様に心から感謝申し上げます。と共に、“縁の下の力持ち”として会を支えてこられました方々にも感謝します。

特に、菌 牧枝さんには、市政会館内の北上市東京事務所にお勤めで第 1 回探索会から第 100 回の今会合まで事務局として活動していただいております。当会が継続できたのは“事務局がしっかりしていたから”、と感謝しております。

それから、初代会長の小原正彦先輩には会を発足させていただきまして感謝。2 代目会長の小原純一画伯には、会を軌道に乗せていただくと共に、“会の旗”を作成していただきまして会の結束に大貢献、本当にありがとうございました。

そして、探索会の可否は案内人次第です。その意味では、初代案内人を務められました高橋洋明先生、洋明先生をお支えくださいました寺尾隆雄教授・洋明先生と高校の同僚でした故西木敏夫先生にも心から感謝しております。

その洋明先生におかれましては、その後、故郷・北上に帰省されることとなり案内人を仲間で交代で行うこととなりました。会員が自身の地元を案内していただくこととして、主に千葉県エリアを小原 寛さんに、神奈川県秦野市を千田 納さんにご案内していただきました。本当にありがとうございました。

巷間、さまざまな会に共通の悩みは、会員の高齢化やインターネットの普及に伴うところの(会員でなくとも様々な情報をゲットできることでの)会員減があります。

当探索会会員の平均年齢は、毎年、確実に増加しておりますことから、今後、何年間継続することとなりますやら何方にも分かりませんが、故郷・北上出身の仲間として東京圏で生活しております人々の交流の場の一つとして探索会の存在意義があるとするならば“2 ヶ月に一度、目まぐるしく変化する大都会・東京の探索を今後とも継続することに意義がある”と小生は想っております。小生は、今後とも一会員として、大江戸探索会が継続する限り参加し続けたいと想っておりますので、今後とも従来どおりお付き合いのほど宜しくお願い申し上げます。

大江戸探索会 第 3 代会長兼案内人 菊池 威